

学校施設を使用しての練習試合・大会開催に際しての 感染予防対策チェックシート

1.基本条件

- ①感染リスクを高める状況を徹底的に回避し、適切な感染予防対策を講じる
- こまめな換気を行い、密閉空間を避ける。
 - 密集・密接を避け、ソーシャルディスタンスを確保する。(競技中を除く)
 - 活動後の清掃・消毒作業を徹底して行う。(特にドアノブやスイッチ等)
- ②以下の4項目に該当する方の参加は不可とする
- 風邪の症状がある方、体調不良の方。
(平熱を超える発熱、咳、咽頭痛、だるさ、味覚嗅覚異常など)
 - 職場・同居家族など身近な場に感染が疑われる方がいる場合。また、PCR 検査の結果待ちの方。
 - 感染者と濃厚接触の可能性のある方。
 - 過去2週間以内に、引き続き感染が拡大している国・地域への渡航歴がある方。
- ③参加者名簿を準備する
- 練習試合・大会等の責任者は、感染者が発生した場合に備えて、参加者に連絡が取れるようにする。
- ※不特定多数の参加を防ぐため、参加者名簿に掲載されている方以外の参加は不可とする。

2.活動内容(感染リスクを下げる対策)

- ①可能な限り人と人との接触を少なくする
- 参加者は別添の定員を上限とし、活動終了後の消毒作業が終わり次第速やかに帰宅する。
※選手や役員のみ参加可能とし、観客などの入場は不可とする。
- ②対人距離(できるだけ2m)を確保できるよう活動内容の工夫をする
- 試合中の接触プレーを除き、密集・密接する場面を避ける。

3.練習試合・大会開催当日の注意事項

- ①参加者の体調管理を行う
- 練習試合・大会の開催責任者は、参加者全員の把握及び発熱体調チェックを行う。
※基本条件②に該当する方の参加は不可とする。
- ②マスクを着用(持参)する
- スポーツを行っていないときや会話をするときはマスクを着用する。
- ③できるだけ2mの対人距離を確保する
- ミーティングを行うときなど、プレー外での密集・密接はしない。
- ④大声での会話・応援の禁止
- 指導者が大きな声で選手に指示を出すことは禁止とする。
 - 声を出しての応援は禁止とする。

⑤ 飲食時、周囲の人との距離をとる

□ 飲食時は特に周囲との間隔を空けて、黙食を徹底する。

※人数が多く周囲との間隔が空けられない、黙食を徹底できない場合には昼食を挟んでの活動はしない。

⑥ □ 運動中に唾や痰を吐かない。肩を組む、ハイタッチをする等の行為も禁止とする。

⑦ こまめな手洗いや手指消毒を行う

□ こまめに手洗いやアルコールによる手指消毒を行い、必要箇所以外はさわらない。

⑧ 換気を行う

□ 屋内においては、活動中も1時間に1回10分程度の換気を行う。

⑨ 活動後は、清掃・消毒作業を徹底する(必ず大人が消毒作業を行う)

□ 施設の清掃を行った後、できるだけ子どもを退出させてから、
トイレや使用した備品・触れた箇所をすべて清拭消毒する。

⑩ 清掃・消毒後は速やかに帰宅する(時間内に清掃・消毒を終わらせる)

□ 個人の上履き・スリッパやゴミは必ず団体に持ち帰り、消毒後は施設の施錠をし速やかに帰宅する。

4. 練習試合・大会開催後の注意点

① 参加者から感染者が発生した場合の連絡を徹底する

□ 練習試合・大会の参加者から感染者が発生した場合は、生涯学習推進課及び参加チームの責任者へ連絡を行う。

※各機関から名簿の提示を求められた場合は速やかに提示してください。

練習試合・大会の開催責任者として、上記の項目を参加者全員に周知徹底するとともに厳守し、適切に施設を使用します。

利用団体名: _____

利用施設名: _____ 学校 体育館 ・ 運動場 ・ 柔剣道場

利用日時: 令和 年 月 日 () 時 分から 時 分まで

(うち、消毒作業を予定している時間: 時 分から 時 分まで)

開催責任者氏名: _____

開催責任者電話番号: _____

参加予定チーム・人数

※全項目にチェックがついた場合のみ、学校施設を使用
しての練習試合・大会の開催が可能です。

※チェックシートの項目が順守されていない場合、学校施設
の利用を中止とさせていただきます。

担当課記入欄

受付印

受付職員